

石井修 生誕100年記念展

2022.11.3 thu-11.27 sun 兵庫県立美術館ギャラリー棟3階ギャラリー 入場無料

2022年は、六甲山東端の甲山の南斜面に位置する目神山町に自邸を構え、関西の建築界を牽引してきた建築家・石井修の生誕100年となります。「建築に外観はいらない」と語った石井は、自然の地形を最大限に生かし、樹木や周辺環境と共存した建築を多く手がけました。今回、石井修の生誕100年を記念し、代表的な作品の図面・写真・模型を展示する展覧会を開催します。また、シンポジウムを開催するとともに、全作品をアーカイブした作品集の出版も行います。

本展は、多様な展示資料を通して建築家・石井修の建築・理念・活動を多くの人々に知っていただくことを目的としています。

主催：石井修生誕100年記念展実行委員会

キュレーション：倉方俊輔（建築家・大阪公立大学教授）

グラフィックデザイン：フジワキデザイン

協力：大阪公立大学倉方俊輔・山口陽登研究室、
大阪公立大学小池志保子研究室、神戸大学光嶋裕介研究室、
神戸芸術工科大学畑友洋研究室、石井良平建築研究所

特別後援：一般社団法人 日本建築設計学会

後援：一般社団法人 日本建築学会近畿支部
公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
公益社団法人 大阪府建築士会

連絡先：06-6949-1002 ishiosamu100@gmail.com

石井修生誕100年記念展実行委員会

委員長／竹原義二

美建・設計事務所OB委員／楠本菊實 大谷隆英 遠藤秀平 濱谷明博

協力委員／吉井歳晴 倉方俊輔 小池志保子 畑友洋 光嶋裕介 山口陽登
大八木裕道 吉野真実

連続シンポジウム

イベント1 「安らぎの空間と石井修」

11/3(木・祝) 16:00~17:30 @ミュージアムホール

定員250名 当日先着順・定員になり次第締め切り

モデレーター：倉方俊輔

登壇者：木原千利、竹原義二、横内敏人

イベント2 「社会的な住まいと石井修」

11/12(土) 16:00~17:30 @ミュージアムホール

定員250名 当日先着順・定員になり次第締め切り

モデレーター：倉方俊輔

登壇者：吉井歳晴、畑友洋、山口陽登

イベント3 「目神山の環境と石井修」

11/19(土) 16:00~17:30 @ミュージアムホール

定員250名 当日先着順・定員になり次第締め切り

モデレーター：倉方俊輔

登壇者：木下光、小池志保子、濱谷明博

イベント4 「挑戦の建築と石井修」

11/27(日) 16:00~17:30 @ミュージアムホール

定員250名 当日先着順・定員になり次第締め切り

モデレーター：倉方俊輔

登壇者：楠本菊實、遠藤秀平、光嶋裕介

展覧会趣旨

石井修という建築家は、どのように生まれ、何を残しているのか。没後15年を経て、歴史的に考えるべく、薫陶を受けた建築家から、直接には知らない関西の若手建築家、学生までが集まって展覧会を企画しました。

石井修は1976年の自邸を皮切りに、六甲山の麓に位置する住宅地である目神山において、住宅を全部で20軒も設計しています。一人の建築家が、次第次第に依頼されたまとまりとして、世界でも珍しい現象でしょう。

建物は完成した時以上に、多くが緑に覆われています。それが従来の建築に疑問を投げかける彼の思想を、いっそう物語っています。さらに自然と共存する住宅のありようが、後に地域コミュニティの指針となり、個人の作風であることを超えた持続性をもたらししていることも近年、知られるようになりました。

1922年という建築におけるモダニズムを担った中心的な世代に生まれながら、環境性や継承性といった現在のテーマを予告しているのはなぜでしょうか？

残された問いに答えるべく、私たちは石井修の生を、新出資料も含めてできるかぎり露わにします。

会場には「目神山の一連の住宅」を中心に、ビルやガソリンスタンドといった未発表の刺激的なデザインの数々、集合住宅の試みなどが並びます。新作の模型と同時に、事務所に残されていた模型、そして詳細な図面も展示され、交友関係や趣味を示す資料と共に、石井修の世界を明らかにします。

キュレーター 倉方俊輔

石井修 略歴

1922年	奈良県明日香村に生まれる
1940年	奈良県立吉野工業学校建築科を卒業し、大林組東京支店に勤務。 その後、早稲田高等学校建築学科で学ぶ。
1956年	美建・設計事務所を開設
1987年	1986年度日本建築学会作品賞受賞（目神山の一連の住宅） 第12回吉田五十八賞佳作受賞（目神山の家8）
1999-2002年	兵庫県立淡路景観園芸学校兼任教員
2002年	日本建築家協会JIA25年賞大賞受賞（目神山の家1「回帰草庵」）
2007年	他界



第12回吉田五十八賞
佳作受賞（目神山の家8）
（1974年 © Makoto Tahira）



交通案内

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
- ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
- ・阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
- ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）にて約15分「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）

*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

*団体バスでお越しの場合は、

バス待機所のご予約をお願いします。

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]

美術館HP

<https://www.artm.pref.hyogo.jp>



兵庫県立美術館
公式HP